

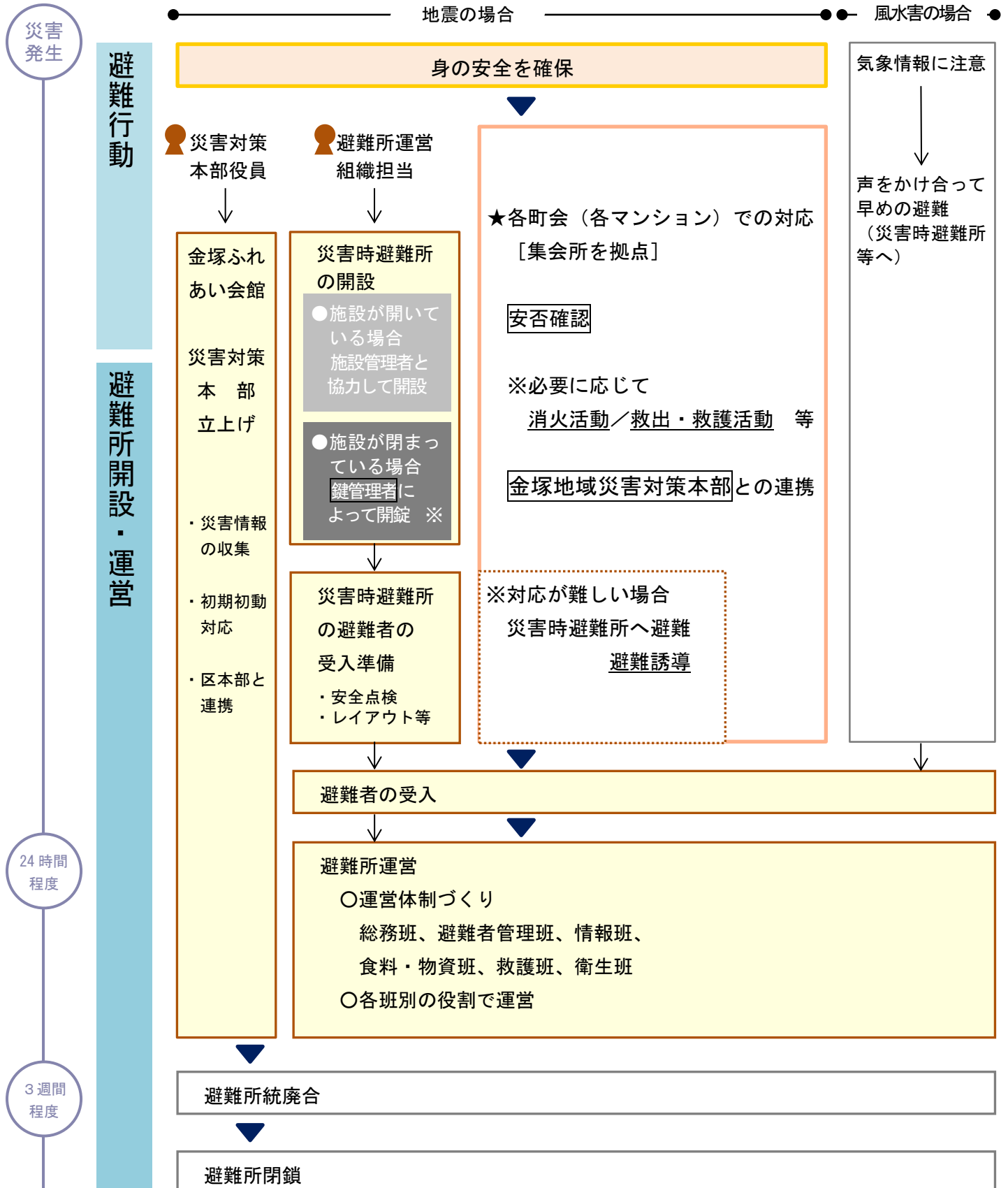
金塚地区 防災計画

地震等各種災害から命を守る



平成 29 年 3 月

災害時の避難行動、避難所開設・運営の流れは次のとおりです。



災害発生

緊急速報メール（※）などによる災害発生情報

身の安全を確保

- 揺れが収まるまで安全確保
- あわてて外に飛び出さない
- ラジオやテレビ等で正確な情報を得る

安全確保が
第一！

一緒にいる家族等の安全を確認

- 家族の安否を確認
- 避難に向けて、出口確保
- 電気のブレーカーを落とす
- ガスの元栓を閉める

身近なところでの確認が、“命を守り合う”
迅速な活動につながる

●各町会（各マンション）での対応を基本！

安否確認

- 隣の住戸、フロア単位などで安否確認（対応例3ページ参照）

住戸内が危険な方は集会所で対応

- 支援が必要な方を優先して、集会所へ誘導

必要に応じ、協力し合って、救出・救護活動

- 協力し合って、できる範囲でのケガ人等への対応。

※マンション内で対応が難しい場合は災害時避難所等への避難も検討。避難する場合などはまとまって行動（災害時避難所に関しては6ページから）

状況を金塚地域災害対策本部へ連絡

※「緊急速報メール」は、携帯電話事業者が無料で提供するサービスで、国や地方公共団体による災害・避難情報等を、回線の混雑の影響なく、特定のエリア内の対応端末（携帯電話）に一斉に配信するもの

揺れが
収まったら

10分

～

数時間

3

災害対策本部の立上げと災害時避難所開設・運営

3 時間程度
が目安



24 時間程度
が目安

災害対策本部立上げ

[金塚ふれあい会館]

- ・ 災害情報の収集
- ・ 初期初動対応
- ・ 区本部と連携

災害時避難所の開設

・ 金塚小学校

- 施設管理者等と連携して災害時避難所の開設

* 学校の開校時間内は施設管理者が開放
* 開校時間外は避難所担当職員、施設管理者が開設
* 避難所担当職員、施設管理者ともに不在で緊急の場合、
地域の鍵管理者によって開設

- 施設の安全点検

避難者の受入準備

- 備蓄倉庫の中から「災害時避難所開設時用品」を取り出し、準備



★備蓄倉庫の位置を確認しておきましょう！

- 施設のレイアウトづくり

避難者の受入

- 避難者の受付
- 名簿作成
- 区災害対策本部への報告

避難所運営

- 運営組織の設置
- 各班別の役割実施

！
地域で役割分担を想定しています